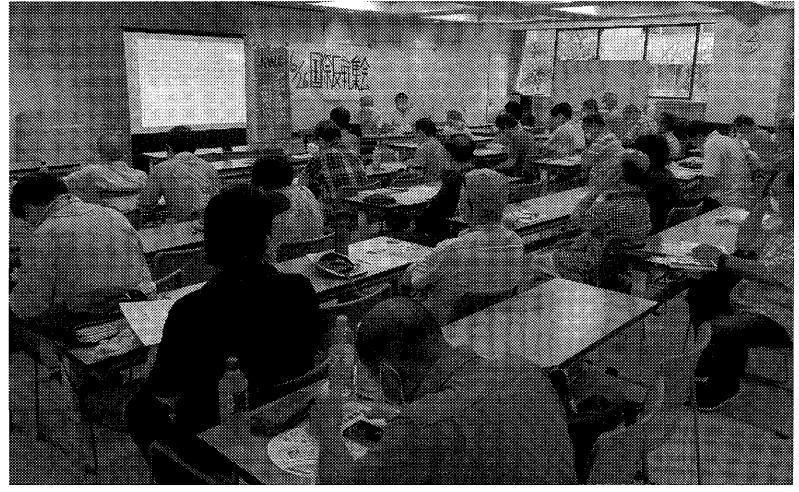


ウクライナ反戦、改憲阻止、国際連帯を

鮮明にする講演と報告、討論

6・26 AWC首都圏集会



大軍拡、改憲攻撃と対決し国際連帯で闘うことを鮮明にした
(6月26日 東京)

権の改憲・戦争体制づくり
アジア共同行動・京都は
外主義と対決する労働者・
民衆の国際連帯を 岸田政

6・26 AWC京都集会

韓国サンケン労組がオンライン報告 集会後、改憲・戦争反対のデモ



岸田政権の戦争、改憲攻撃との対決を訴えデモに取り組んだ
(6月26日 京都)

とたたかおう 6・26 AWC
さん(韓国民主労総副委員
会)長)からオンラインで報告
を受けた。韓国サンケン労
組が関連企業の事務所占拠
とハンストなど闘争を強め
ている中の報告であつた。
パワーポイントを使つた
報告では、一九七〇年代
問題への帝国主義の介入に
反対する台湾労働人権協会

と題して、キム・ウニヨン

6・26 AWC京都内での排

韓国サンケン労組への連帯を

た報告では、一九七〇年代

と題して、キム・ウニヨン

岸田糾弾に包まれた

6・23 沖縄戦「慰靈の日」反戦行動



会場入口で岸田糾弾を訴える仲間たち（6月23日 沖縄）

長梅雨が明け灼熱の太陽が降り注ぐ六月二三日、第二次帝國主義戦争敗戦から七年目、「復帰」五〇年目の沖縄戦「慰靈の日」を迎えた。糸満市摩文仁の平和祈念公園では「沖縄全戦没者追悼式」（沖縄県主催）が開かれた。コロナ禍で式典規模が縮小され、遺族や一般参加者の入場が制限される中、三年ぶりの首相参列を強行するため、平和祈念公園内外は静肅な「慰靈」追憶を逆撫である。午後、沖縄戦「慰靈の日」を反映した宣言であり、文

者の強制排除警備態勢が敷かれた。怒り心頭だ。会場入り口では、首相岸田に対する邊野吉新基地建設阻止闘争を闘い抜く有志呼びかけの抗議集会が展開された。白バイに先導され強行突破を図る岸田を乗せた車列に、沖縄戦犠牲者の無念さと怒りをこめて断固たる糾弾のシユプレヒコールが浴びせられた。

式典で玉城デニー知事は、「基地のない平和の島」を求めた「復帰」だったが、今はお米軍基地の集中による基地負担が強要されないと指弾、日米地位協定の抜本的改正、普天間基地の

運用停止、辺野古新基地建設念を訴えた平和宣言を発した。初めての意見公募に参加した沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松代表も心を一つにしている。

また例年、旧日本軍司令官・牛島と参謀長・長の自決を賛美するため「黎明の塔」への「慰靈行軍」参拝を行った。この日は、翌日にサンケン電気の大坂支店前での抗議行動を行つてきました。この日は、翌日にサンケン電気の株主総会を開催され、サンケン電気大阪支

行進が行われた。おおさかユニオンネットワークは韓国サンケン労組の闘いに連帯し、このかんの呼びかけで、サンケン電気大阪支店に対するデモ行進が行われた。

おおさかユニオンネットワークは韓国サンケン労組の闘いに連帯し、このかんの呼びかけで、サンケン電気の大坂支店前での抗議行動を行つてきました。この日は、翌日にサンケン電気による偽業の事務所での占拠・籠城とハンスト闘争が報告され、デモ終了後、参加者はあらためてサンケン電気大阪支店前に並び、横暴で不誠実なサンケン電気を弾劾

園では、このかんの韓国サンケン労組による関連企業の事務所での占拠・籠城とハンスト闘争が報告され、デモ終了後、参加者はあらためてサンケン電気大阪支店前に並び、横暴で不誠実なサンケン電気を弾劾

アによるウクライナ侵略を隠蔽するため、今年の「慰靈行軍」を断念に追い込まれたことも判明した。このように、6・23反戦行動はあらゆる領域においております」と他人事のように述べると、会場外から

お米軍基地の集中による大きな負担を担つていただけます」と反映した宣言であり、文

6・23 韓国サンケン労組の闘いに連帯

労働者階級人民の闘う指針
定期購読しよう!
戦旗社

岸田首相、岸防衛相のアジア安保会議出席を弾劾する

小出一好

ロシアによるウクライナ侵攻がもたらした世界情勢の大きな転換の中で、岸田政権は、米帝バイデン政権の形成を目指し、世界を分断と戦争の対立構造に引き込もうとする米帝バイデン政権の世界支配戦略の片鱗を抱き、帝国主義として生き残ろうとするあがきに他ならない。本質的には安倍右翼反動政権と何ら変わらない、改憲と排外主義が政策の基軸となる岸田政権の本性が露わになってきている。

岸田政権は、ウクライナ侵攻以前から、中国や朝鮮民主主義人民共和国（以下共和国）の「弾道ミサイル」に

対処するとして敵基地攻撃能力（「反撃能力」と言い換えている）の保有の動きを始めたが、ウクライナ戦争を奇襲として、この動きに拍車をかけている。中国や共和国の「脅威」を煽動し、自衛隊の増強と日米軍事同盟の強化に乗り出している。

「平和のための岸田ビジョン」なる

大軍拡宣言

尖兵となつて、中国・ロシアを敵視の軍事外交を活発化させていている。これは、中国・ロシアを排除し包囲する同盟の形を自指し、世界を分断と戦争の対立構造に引き込もうとする米帝バイデン政権の世界支配戦略の本性が露わになつてきている。

ロシアによるウクライナ侵攻がもたらした世界情勢の大きな転換の中で、岸田政権は、米帝バイデン政権の

形成を目指し、世界を分断と戦争の対立構造に引き込もうとする米帝バイデン政権の世界支配戦略の本性が露わになつてきている。

ロシアによるウクライナ侵攻がもたらした世界情勢の大きな転換の中で、岸田政権は、米帝バイデン政権の

